

おおぞら 議会だより

CONTENTS

3月定例会、予算審査特別委員会を開催	2
議員5名が一般質問	6
①後藤議員 一般廃棄物広域中間処理施設について	
②大泉議員 自転車利用時のヘルメットについて	
③上地議員 森林整備の取り組みについて	
④川村議員 大空町の認知度について	
⑤鈴木議員 地震災害への備えについて ほか	
議会報告会を開催	12

新1年生
いただきます。




No. 72

OZORA
GIKAI DAYORI

[発行日]

令和6年(2024年)5月31日

大空に
人花心
育むまち

～令和6年度 予算審査特別委員会～

新年度まちの予算をチェック！

新年度予算 総額 123 億 6,933 万円 を可決

令和6年第1回定例会に提案された令和6年度大空町各会計予算は、議会に「予算審査特別委員会」を設置し、慎重に審議しました。

審議の結果、提案内容のとおり可決すべきものと決定し、議員全員の賛成により可決されました。

本特別委員会での総括質疑・答弁の概要をお知らせします。

※内容は要約しております。詳細は、両地区図書館または議会HPの「会議録」をご覧ください。

◎一般会計歳出

高齢者等移動支援事業

鈴木委員

問 外出支援タクシー、福祉タクシーについて改善され、良いことだと思っている。外出支援は大変重要となる。利用者の方々の説明の場の充実やタクシー業会の方々への説明等について、十分配慮いただきたい。

課長 利用者の方が利用しやすい形へ改善を考え、改正します。高齢利用者が活動している団体や、高齢者のカフェ等に職員が改正について説明をさせていただくとともに、事業者との連携を取りながら進めていきたいと思います。

社会教育施設整備事業

鈴木委員

問 社会教育施設整備事業について、どのような観点で進めるのか伺う。

課長 施設整備の段階から多くの町民の方に参画をいただくことが新しい施設の利用促進に繋がると思っています。

高等学校管理費

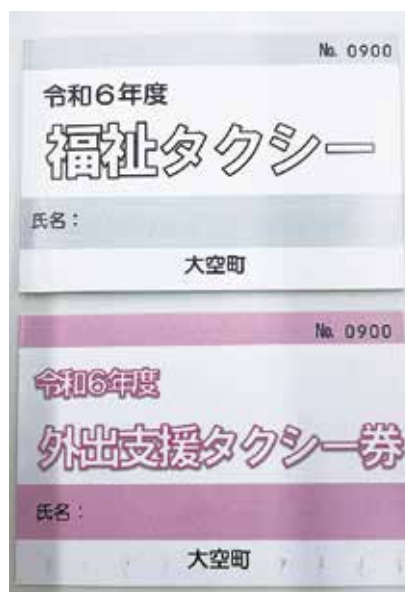
鈴木委員

問 旧女満別高等学校の校舎利用について、今後の対応を伺う。

課長 大空高校女満別校舎は、北海道教育委員会から令和3年4月1日に譲与を受けています。用途指定として、町立高校として使用するというところで、期間は使用指定日から10年間。用途指定の変更や解除する場合は、北海道教育委員会の承認を受けることとなっています。



女満別研修会館



福祉タクシー・外出支援タクシー券

令和3年、4年度において、女満別校舎は旧女満別高校に入学した生徒の教育活動の場として使用し、令和5年度は高校生の授業で冬期間以外に週1度の使用、地域住民への学校開放の施設利用等を行いました。利用頻度は減少しています。今後は町立高校としての使用から地域住民の社会教育活動及び体育施設としての学習する施設や複合的な目的で利用する施設として、また、町全体の公共施設、社会教育施設との調整を図り、用途指定の変更も検討します。



大空高校女満別校舎

◎簡易水道事業会計予算 歳入歳出

インボイス制度対応

川村委員

問 水道事業3特別会計から企業会計への移行に伴い、消費税が発生している。インボイスの登録について、事業者の方が役場の番号を登録しているのか、周知の方法等どのように考えているのか伺う。

総務課 参事 昨年の10月1日からインボイス制度が開始され、買い手が仕入れに税控除を受けるためには、売り手から発行されたインボイスの保存が必要になるため、町の発行する請求書はインボイス対応させていただいています。大空町の登録番号や各簡易水道、下水道、個別排水事業も全て登録番号を取得しています。役場から発行される請求書や領収書には登録番号を記載しています。町の広報やホームページには周知していませんでした。今後、広報やホームページ等で情報提供に努めます。

のを目指していくか伺う。

総務課 参事 役場庁舎は1985年築の建物です。新築であればバリアフリー対応等配慮もなされる場所です。改修という制約がある中、既存施設をより良くしていかなければいけません。

職員 職員の勤務環境について、照明の明るさや冷暖房の改善を図っています。1階のトイレについて、多機能トイレとして、オストメイト、乳幼児のチャイルドベットのスペースを確保します。

DX推進と行政改革について

上地委員

問 国が進める自治体DXを町としても進め、住民の方が分かりやすく、かつ最大限サービスを活用できるようDX人材を外部から活用すると聞いている。

また、行政職員が改革に取り組み、全庁横断的

また、無線環境の投入によるネットワークの改正等を行い、職員の業務の改善が出来るよう庁舎改修に取り組んでいます。

総務課 参事 町で行っている全ての業務を棚卸し、可視化する作業を実施します。

デジタル技術を活用し、町民の利便性や行政サービスの向上させたいところ。全てをデジタル化するわけではなく、デジタル技術の活用が難しい方は現状のまま対応できるように考えています。

例えば、民間が行っているキャッシュレス、スマホ決済、予約や決済をネット上で行うことを行政でも行えないかと思っています。

また、デジタル技術を活用して防災対策、地域通貨の導入、児童、高齢者の見守り、オンライン診療医療、医療マースなどのデジタルツールの活用に向けて検討します。大空町に合った、大空町民にとって最適なサービスの導入に向けて検討します。

予算の執行について

鈴木委員

問 今年度から始まる総合計画の策定事業、ゼロカーボン宣言に伴う地球温暖化対策実行計画策定支援事業の業務委託、芝桜公園の大規模改修基本計画の策定の委託と計画関係の委託業務が何本かある。委託業者との連携を十分密にして

地域に合った将来構想の策定に配慮いただきたい。

町長 計画策定にあたっては、委託業者に発注させていただくことになると思いますが、発注して丸投げするのではなく、発注している間も議論を重ね、大空町にふさわしい計画を策定したいと考えています。

◎総括質疑

役場庁舎大規模改修事業

上地委員

問 役場の大規模改修事業について、働く職員や地域住民に使いやすいものでなくてはならない。特に高齢の方、障害や疾患をお持ちの方、乳幼児、妊婦等社会的配慮が必要な方もおり、いかに快適に使いやすいも



役場庁舎1階多機能トイレ（バリアフリートイレ）



大規模改修が計画される東藻琴芝桜公園

親しまれる議会だよりを目指して

～議会広報モニター連絡会議を開催～

議会だよりに町民の声を反映するため導入している「議会広報モニター連絡会議」を令和6年3月21日に開催し、議会広報活動へのご意見をいただきました。

主なご意見は次のとおりです。

- 記事を読みたくなるような、短くわかりやすい見出しにした方が良い。
- 似顔絵が似ていない議員もいるので、個人的には写真の方が良い。
- 視察の報告について、行った委員全員の所感が載っている方が良い。
- 質問したあとの検討結果を知りたい。



～議員と懇談しませんか～

大空町議会では、より多くの町民から意見を聴き、町民と議会の関係をより近づけられるよう、議会報告会のほか、団体や任意のグループ、次世代の担い手などを対象とした懇談会の開催に取り組んでいます。

議会から各団体等へ、各団体等から議会へ懇談会開催の申込みを行うことができ、議会から参加する議員は3班編成とし、右の似顔絵のとおりです。

各団体等で議員と懇談したいなど希望がありましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL (0152) 74-2111

1 班






原本議長 松岡議員 森賀議員 大泉議員

2 班






齋藤副議長 三條議員 岩原議員 川村議員

3 班






上地議員 後藤議員 鈴木議員 福田議員

令和6年 3月定例会 3月6日～13日

教育長、監査委員などの人事案件に同意 大空町犯罪被害者等支援条例制定を可決



人事案件
教育長の任命
関谷正樹氏（再任）の
任命に同意しました。



監査委員の選任
近藤克郎氏（再任）の
選任に同意しました。

教育委員会委員の任命
神田靖治氏（再任）の
任命に同意しました。

固定資産評価審査委員会委員の選任
菅野宏治氏、川井政昭氏、齊藤恒一氏（いずれも再任）の選任に同意しました。

過疎地域持続的発展市町村計画
過疎対策事業債の充当を予定している3事業を大空町過疎地域持続的発展市町村計画に追加・1事業を変更することについて、可決しました。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
高齢者を取り巻く状況や今後のニーズについて見据え、令和6年から3か年の具体策と、その後の方向性について策定した、第9期大空町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について、可決しました。

条例制定・一部改正
犯罪被害者等が受けた被害の早期回復や軽減を図るため、支援に関する施策や見舞金の額などを規定した、大空町犯罪被害者等支援条例制定。大空町課設置条例等の一部を改正する条例制定など8条例の一部改正について、可決しました。

バス置き去り防止装置設置委託料
「将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する要望意見書」について可決しました。

課長補佐
認定こども園の送迎として運行するバスに対し、

問
安全装置の対象台数等詳細について
後藤議員

補正予算（歳出）の主な内訳

事業名	補正額
畑地化促進事業補助金	2億3,104万円
低所得世帯等支援給付金	3,500万円
認定こども園施設型給付費	1,051万円
排水路整備工事	796万円
バス置き去り防止装置設置委託料	240万円

令和5年度会計補正予算
令和5年度一般会計のほか、7特別会計の補正予算について審議し、可決しました。

福祉課
保健師職で介護予防給付のケアプランを作る方の退職後、後任を探しましたが見つからず、その分は他の保健師がカバーをしています。

問
専門職の会計年度職員の雇用について、どのような分野の専門職を採用ができなかったのか伺う。
鈴木議員

要望意見書
「将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する要望意見書」について可決しました。

包括支援事業減額内容
現在、12台に設置予定で、1台に当たり20万円、総額240万円を見込んでいます。1台当たり17万5,000円の定額で補助金を予定しています。

議会の傍聴はお気軽に!

- ◆定例町議会は、年4回（3月・6月・9月・12月）開かれます。また、臨時町議会は必要に応じて随時開かれますので、お気軽に傍聴においでください。
- ◆詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

6月定例会は、
6月20日(木)から
開かれる予定です。

大空町議会
YouTube





自転車利用時のヘルメットについて



大泉議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(3時間20分16秒から)

おおいずみ ともり
大泉 知功 議員

気軽に乗れる自転車ですが、万が一に備えるという意味で、ヘルメットの努力義務化がいい機会なのかなと。皆さんはどう考えますか？

町長 道路交通法の一部改正により令和5年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。改正前には保護者は13歳未満の子どもが自転車を運転する際にヘルメットをかぶらせるように努めなければならぬと、子どもの運転に限定されていましたが、昨年の法改正により運転する方はもちろん同乗する方にもヘルメットをかぶらせるよう努めること、ま

問 町内の認定こども園、小、中、高等学校では園児、児童、生徒に対し、自転車利用時の注意啓発や交通安全、着用指導などは行っているか。

また、お年寄りの方の中には、買い物や通院等で自転車を利用されている方もいるが、高齢者への啓発などは行っているか。

ヘルメット着用普及に対する今後の取り組みは？

町長▼無償配布、購入助成を行う考えは持っていますか

た、保護者等は子どもが自転車運転する際には、ヘルメットの着用を促めること。と、全ての自転車利用者に対し着用が努力義務となりました。

背景には、自転車事故による死亡事故の多くが頭部に致命傷を負っていること、また、ヘルメットを着用していない場合の致死率が着用している場合と比較すると約2倍となっていることなどの理由から交通事故による頭部への被害を軽減するため努力義務となったところ。

大空町の交通安全取り組みについて、町民の交通安全を保持するため、交通指導員を女満別地区で9名、東藻琴地区で6名、合計15名を任命しています。交通指導員の活動の一環として毎年春に女満別小学校と東藻琴小学校で交通安全教室を実施し、自転車の安全な乗り方の指導やヘルメット

着用について推奨してきています。令和5年度の交通安全教室では、ヘルメット着用が努力義務となったことを周知しています。また、昨年7月4日に東藻琴地区で開催された交通安全大会、社会を明るくする運動大会において、自転車に乗る際には交通ルールを守り、ヘルメットを着用することが大会決議として決議されました。

高齢者に対する啓発については、高齢者に特化した啓発活動は行っておりません。

本町には交通安全思想の普及啓発を図るため、大空町交通安全協会が組織されており、下部組織であります両地区の交通安全協会それぞれ地区において、町民に対し交通安全に関する啓発活動を実施しています。

そのほか、大空町交通安全防犯推進委員会では、秋の輸送繁忙期における

町長 旗の波作戦や飲酒運転根絶などの交通安全に関する啓発活動を行っています。

問 ヘルメット着用普及に対する今後の取り組みについて、考えがあれば伺う。

町長 ヘルメットを着用する率は具体的な調査は実施しているわけではありませんが、実態としてはそれほど高くないのではないかと思います。特に中学生ぐらいになると、さまざまな理由によりヘルメットを着用していないのではないかと推察しています。

オホーツク管内の自治体において、小・中学生などを対象に



交通安全教室の様子

自転車用ヘルメット無償配付している事例、さらには、道内の自治体の中には、ヘルメットを購入した際の補助制度があることも把握しています。

しかしながら、先程申し上げましたように、無償配布を仮に行っても、さまざまな理由によりヘルメットを着用していただけないなど、有効性が低いのではないかと感じているところであり、大空町として、現時点ではヘルメットの無償配布または購入補助を行う考えを持っていないところです。



一般廃棄物広域中間処理施設について



後藤議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(1時間35分51秒から)

ごとう しのぶ
後藤 忍 議員

施設建設を契機に、暮らしやすい街になって欲しいと考えます。

問 現在までの推進協議会を含めた経過及び今後の中間処理施設建設までのスケジュールについて伺う。

住民課長 令和2年12月に斜網ブロックごみ処理広域化担当協議会（1市5町と津別町）で処理の課題と現状について情報交換を行いました。令和3年2月に市町長会議を経て、協議検討事項の確認及び先進地視察（遠軽フリーンセンター）、施設整備に係るスケジュール、各市町のゴミ質調査、焼却処理施設の規模、換算事業費等について計7回の会議を開催。令和4年度に斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会を設立し、先進地視察（十勝圏複合事務組合くりりんセンター、釧路広域連合清掃工場）、広域処理基本構想策定業務などの発注、また、焼却炉メー

カーによるプレゼンテーションなど計8回の会議を開催。令和5年度に循環型社会形成推進地域計画策定業務を発注し、焼却処理施設単独では燃やす廃棄物の量が少なく発電が難しいことから炭素社会を考慮したメタン発酵施設についても検討を開始。また、併せて一部事務組合の設立に向けての体制等を検討し2月までに11回の会議を行っています。

今後のスケジュールですが、令和6年に生活環境影響調査、地質調査、施設の基本計画の策定や中間処理施設建設に向けた林地開発の確認、道路工事や宅盤造成、インフラ整備などの事業内容及び広域による一部事務組合の準備室を設置し、規約や議会の体制など検討をして決めていくこととなります。令和7年度は一部事務組合が主体と



道央廃棄物処理組合焼却施設（千歳市）

問 施設整備・宅盤造成等についての協議内容及び東藻琴地区の影響についての認識、考え方について伺う。

町長 施設整備について、将来の人口減少に伴う廃棄物の減少及び炭素社会を見据え、焼却処理施設他、メタン発酵施設についてもメリット、デメリットを整理しながら選考しています。

また、併せて現焼却処理施設の南側に位置します建設予定地を整備するための宅盤造成や連絡道路、電気通信、上水道、防災施設の整備についても精査、概算事業費の積算を進めています。

東藻琴地区への影響については、各市町からの搬入車両による交通量が増加するものと認識しています。

現段階で予測は困難ですが、住民の安全確保のため、市

町長 施設の整備にあたっては、しっかりと地域住民、あるいは1市5町の市民・町民の皆さんの意向を踏まえながら整備していきたいと考えていますし、概算総整備事業費が最大178億円については、実際どの方式が1市5町で行う中で、将来的に40年、50年使っていくと想定したときに、適正な規模、そして初期投資、ランニングコストはどうなのかというところもしつかり考えながら、この大規模事業を行っていく必要があると思います。

住民の方々が、持続的に幸せな生活ができる「まちづくりのビジョン」を備えていただきたい

町長▼地域住民の皆さんの意向を踏まえながら整備してまいりたい

問 一般廃棄物広域中間処理施設においては、将来を見据えた建設予定地、経費及び維持費の縮減の検討を図りつつ、かつ並行して地区の住民の方々が持続的に幸せな生活ができるような「まちづくりのビジョン」を備えていただきたい。

街地を通らない迂回ルートとし、それに伴う道路整備を検討する予定です。



大空町の認知度について



川村議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(4時間16分55秒から)

かわむら じゅん
川村 淳 議員

入学シーズンが終わり新たな年度の始まりを感じるこの頃です。令和6年度も様々な事業がありますが、良い街づくりのため、一歩ずつ進めていきたいと思います。

町長 オホーツクA-推進協議会が実施した認知度・魅力度等調査結果において、今回も17位ということと認識しています。

町長 一方で、第12回住みよい田舎ベストランキングで大空町が全国で15位、北海道エリアでも7位と

問 大空町が誕生して今年で18年、町としても大空町の地名を広くPRされてきたと思うが、あるアンケート結果によると、オホーツク管内のうち大空町が17位と下から2番目の認知度となっていた。

町長 これからの人口減少問題を見据え、ふるさと納税等も増やしていきたいと思ひもある。そのために、まずは大空町という名前の認知度を向上させなければと考えている。大空町の今の認知度の現状を見てどのようにとらえているのか伺う。

町長 魅力発信等を重点政策として位置づけた取り組みについて、まちづくり推進室という新たな部署を来年度設けたいと考えており、DX・GXの推進、人の流れの創出拡大、行政サービスの維持向上等に積極的

問 移住定住政策のよ

町長 魅力や認知度を向上させる取り組みは難しく、18年やって積み上げてきたものが、今は下から2番目という結果です。今後も皆様のご協力もいただきながら認知度や魅力の向上に努めていきたいと思います。

町長 魅力や認知度を向上させる取り組みは難しく、18年やって積み上げてきたものが、今は下から2番目という結果です。今後も皆様のご協力もいただきながら認知度や魅力の向上に努めていきたいと思います。

町長 町が行っているSNSは発信頻度も高く内容も素晴らしいものが多いが、まだまだフォローが少ない現状。もう少しSNSの仕組みを担当者が理解した中で使い分けていく必要があるのではないかと考える。

町長 行政が発信するSNSでは一人の発信の仕方というは出来ないと思ひつつも、効果がある発信の仕方は他の町も参考にしながら、しっかりと検討していきたいと思ひます。



北海道移住相談会にて大空町をPR

大空町の認知度向上に向けて今後の取り組みについて

町長 ▼ 戦略的に情報発信し、魅力や認知度向上に向け努力する

オオゾライフ HP



森林整備の取り組みについて



上地議員の一般質問がYouTubeで視聴できます。(3時間38分50秒から)

うえ ち ふみたか
上地 史隆 議員

東藻琴山園、未広地区の2地域が水資源保全地域に指定されました。先人から引き継いだ貴重な水源(水源涵養林)を守ることが出来て良かったです。

町長 町有林の管理については、保安林を含め主伐期を超過している人口林を優先し、令和6年度は15ha、それ以降は年間30haの更新を計画しています。

町長 また、網走地区森林組合と作業箇所を協議して令和7年度から作業道を整備し、私有林も含め計画的に伐採が可能となるよう取り組んでいきます。

町長 市町村による森林整備の財源として、森林環境及び森林環境譲与税に関する法律に基づ

町長 木が所有地に倒れたり、道を塞ぐこともあり、防風林についても農業関係者からGPSの支障、日照に影響があると聞いている。

町長 森林所有者を確定できない、森林組合から森林所有者へアンケートをしても回答が来ないという話をいただいています。町としては、ホームページや広報紙等で定期的に補助事業制度を情報掲載し、私有林の管

町長 私有林の人工林面積59%について令和5年度から9年度までの経営管理計画が作成されています。森林の整備は緑豊かな森事業を活用して実施しており、国・道・町の補助金に森林環境譲与税を上乗せして造林費用の軽減を図っています。

町長 しかし、森林経営管理計画を作成しないと補助事業の実施が出来ません。私有林の整備、促進を図るため、森林所有者に対して森林経営管理計画を作成していただくよう要請していきます。

町長 大空町の令和5年度における森林環境譲与税の使途は、緑豊かな森づくり事業、森林情報システム更新、人材育成支援協議会負担金、林道維持補修事業等となつていますが、令和6年度以降新たに森林環境譲与税の使途として作業路網の整備、私有林及び町有林の管理計画の作成、保安林の管理に充当したいと考えています。

町長 全国的に問題になっているのが、森林経営管理制度では所有者がわからない場合に、市町村で管理を行った事例もあり、今後増えてくるのではないかと危惧している。

町長 令和6年度森林環境譲与税2,586万円を見込んでいます。また、森林環境譲与税の使い道については、広報、ホームページを含め、町民の皆さんにお知らせしたいと考えています。

問 民有林がある全ての市町村は法律で森林整備計画の策定が義務づけられており、効率的に森林の整備を進めていくこととなっている。民有林のカラマツ及びトドマツを主体とした人工林の多くは戦後に造林をされ、計画的な伐採を図る必要があるが。

町長 営者に再委託することにも、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理する制度です。町内の森林所有者の現状を伺う。

町長 森林の整備に促進する施策に充てることとされているが、本町においてはどのような事業に活用されてきたのか。

町長 一方で防風保安林は、伐採について厳しい基準があり、要望のとおり対応できていないのが現状です。聞き取りをして可能な範囲で対応したいと考えており、今後も国・北海道等に対して要請させていただきます。

問 森林環境譲与税、令和6年から個人住民税均等割の枠組みで、国税として年額1人1,000円、市町村が賦課徴収を行うが、住民に分かりやすく普及啓発する必要があるのではないかと

管理されていない森林について

町長 ▼ 計画的に森林整備を進めたい

また、農地等日陰になつて生育等が良くないところについても優先して伐採させていただいてます。

理の啓蒙普及を図ると共に、森林所有者の把握も協力していきたい。



女満別地区の町有林

②食育推進における食物アレルギー対策について

教育の機会均等の観点から十分な配慮を

町長▶児童・生徒の安全を最優先して対応

問 食物アレルギー対応食に関する施設整備については、今後どのような観点で計画に盛り込まれるのか伺う。

保護者の理解を深めながら対応方法を決めており、アレルギーは、年齢とともに変化するため、毎年すべての学年において中学卒業まで継続的に実施しています。

教員長 小学校入学前の11月から食物アレルギーに関する調査を実施し、アレルギーを有する児童の保護者と栄養教諭と養護教諭が面談を行い学校給食においてアレルギー対応を希望する場合は、医師が診断した学校生活管理指導表の提出を求めています。

問 アレルギー対応食の提供に関しては人権尊重の基本精神に基づき充実が図られていると思うが、本町における食物アレルギーを持つ児童、生徒に関する安全管理対応、相談体制の充実策について伺う。

教育長 女満別給食センターは平成22年、東藻琴給食センターは平成8年に整備され、両施設とも鉄筋コンクリート造で、耐用年数に問題はなく建替えを想定しています。

問 アレルギーを持つ
ていることは、一
つの個性として尊重し、
対応するのが大切だと認
識しています。現場との
連絡調整や相談対応につ
いて伺う。

調理するスペースがあり
ますが、東藻琴給食セン
ターには、専用スペース
がなく、除去食及び代替
食の対応としています。
両センターともに、小
麦粉のような空气中に飛
散してしまう食材がアレ
ルギー原因物質の場合
は微量混入防止対応がで
きない施設ですので、米
粉パンなどの代替食や弁
当により児童・生徒の安
全面を最優先にして対応
しています。

給食センターはもとより担任を初め、全ての教員で情報共有が行われ、給食センターの調理時から配送や配膳、給食の提供時や食後において、全てが管理されています。

さらに原因食物が多品目にわたる場合や特別な対応が必要な児童・生徒に関しては、献立作成に際し、栄養教諭が保護者と毎月面談し、保護者の不安に対する相談にも応じています。



給食配膳の様子

③町政執行方針と自治基本条例について

自治基本条例の基本理念の確認を

町長▶大空町民自治推進委員会答申を十分精査して対応

同委員会において、現在の社会情勢等を踏まえて自治基本条例の運用状況の検証及び条例の見直しの必要性について、審議していただいています。検証結果に基づく答申内容を十分精査の上、必要に応じて条例の改正や運用状況の見直し等を行いたい。

町長 大空町自治基本条例では、条例の実効性を高めるために、大空町民自治推進委員会を設置し、必要な意見を求めること、また、4年を超えない期間ごとに条例の見直し等について、同委員会に諮問することと定められており、令和5年2月に、大空町自治推進委員会に対して条例の見直し等を諮問しています。

問 町長が目指す町民の要望を的確にとらえコミュニケーションを大切にしたまちづくりを進めるため、今後、自治基本条例の推進状況の確認や、条例の見直し等を進める意向の有無を伺う。

町長 大空町自治基本条
例では、条例の実

①地震災害への備えについて



すずき ひでゆき
鈴木 秀之 議員



鈴木議員の一般質問が YouTube で視聴できます。(4 時間 32 分 20 秒から)

町民の安全・安心の確保には、町民への情報の公開と情報の共有が必要との観点から質問しました。

近隣の活断層に関する最新情報の周知を
町長▼科学的知見に基づき情報を発信

問 地殻や活断層に関する情報を確認し、地震災害への備えを再確認していく必要があると思うが。

問 今回の能登半島地震災害の状況を鑑み、防災計画内容の確認と見直し等を検討しているのか伺う。

町長 能登半島地震では2か月経過後も多くの地域で断水しており水道施設の被害防止は非常に重要な地域課題です

町長 大空町に近い活断層に関する情報は「標津断層帯」、その他の断層帯の「網走湖東岸断層帯」があり、主要活断層帯のひとつ

町長 政府の地震調査研究推進本部は、全国で進めている活断層型地震の長期評価の作業を急ぎ、予定より早めて公表することを決めたよう

して対策を進めていく必要があると認識しています。令和5年度にアセツトマネジメントを実施しており、これを踏まえて施設更新を進めます。

しています。その他の活断層の「網走湖東岸断層帯」は、評価が行われておらず想定する被害規模も不明です。活断層の動く時期が何時なのか予想

きたい。
防災関係機関の情報を
収集、整理し、令和6年
度には、大空町地域防災
計画の修正をしていき
たい。

「アセットマネジメント」とは、持続可能な水道施設の特性を踏まえ、水道施設のライフサイクル的に水道施設を管理・更新することによる活動。

言えは何時動いてもおかしくないとも言えます。活断層の存在を認識した上で、啓発活動、防災教育を着実に進めるとともに、科学的見地に基づいた情報を適宜適切に発信していきたい。

問 地震に備え、老朽化した生活基盤整備している水道管の更新整備は優先地域課題であり、計画を繰り上げて進めていく考えがあるのか伺う。

水道における「アセットマネジメント（資産管理）」とは、持続可能な水道事業を実現するために、水道施設の特性を踏まえつつ中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたり効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動。



防災訓練での段ボールベッド組立

町長 耐震改修促進計画は、令和4年3月に計画を策定し、民間住宅の耐震化率は75.9%でした。現時点では、住宅新築や古い住宅の除却等により77%程度となっています。計画では、

することを目標としています。

耐震化診断に関しては北海道が実施している昭和56年以前の戸建て木造住宅の無料耐震診断の周知をしています。また、住宅耐震化の相談窓口を設置し、令和4年度には地震に備える安全対策パンフレットを作成し、全戸配布しています。

町が実施している住宅リフォーム事業補助金は耐震補強工事にも活用可能であり、新たな耐震化工事支援策は考えていません。

問 大空町耐震改修促進計画の中に、民

することを目標としています。



議会報告会・町民との意見交流会を開催

大空町議会の活動内容を報告するとともに、町民の皆さんと「まちづくり」について語り合う『令和5年度 議会報告会・町民との意見交流会』を2月17日に開催しました。
41名の方の参加をいただき、たくさんのご意見等をいただきましたので、主な内容をお知らせします。

主な質問・意見等	議会側の回答
●熊・鹿対策について、熊1頭、鹿1頭取っていくらになるのか。 ●猟友会のメンバーは、本当に見合っているものになっているのか。 ●車の『ガソリン代が上がっていて大変だ』と言うハンターもいる。 ●（出没の）連絡があって現地へ行っても既に熊も鹿も逃げて居ない。 ●その辺は、無駄足になってしまうが、それでも駆除してほしいのが我々農家の願いである。罠をかけているが、かけると寄って来ない。鹿も人に馴れて知っている。 ●本当に手間暇かけている割には、成果が上がっていないというのが実態なのではないか。 ●町の決算状況を見ると起債が増えている。事業の実施は、総合計画に沿って進められていると思うが、公債費がどんどん増えているので、将来的に大変になるのではないかと考えている。 ●廃屋の関係について、壊した場合は「助成金が出る」と聞いているが、業者が壊した場合なのか、個人的に処理した場合なのか確認したい。 ●教員住宅を売却して、今は個人の方が入居している。公営住宅も老朽化しているが、一般家庭でまだまだ使える住宅であれば、個人に売却するようなことなども考えてもらえれば。 ●過疎地域ということで、大空町も人口が減る数字が公表されており、今後どのような対策をされるのか。	◆箱罠の状況等、両地区の猟友会の件について調査をしました。 ◆女満別地区1ヶ所、稲富と西倉の境界辺りに1ヶ所、罠を仕掛けています。熊は警戒心が非常に強くて、なかなか箱罠に引っ掛からないようです。 ◆知床財団と連携し、令和2年から4年まで、生態、生息実態調査を行って目撃場所、食害場所について財団職員に現地確認していただき、カメラも設置して観測データの収集を行っています。 ◆女満別日進地区においては、熊が鹿を追い求めるので、鹿が進入出来ない高さで電気牧柵を設置しています。 ◆大空町では、熊の出動に対し、1人日当9,000円、捕獲1頭当たり1万円をそれぞれ支出しています。 ◆令和4年度決算では、実質公債費率が約10%、地方債残高が164億1,365万円。令和3年度の154億円台だったのが一気に増えています。 ◆できる限り歳出を抑制していかなければならないと思います。 ◆危険廃屋限定、業者が撤去工事を行うもので、費用の2分の1、最高50万円までとなっています。 ◆詳しくは、住民課、住民福祉課に照会してください。 ◆老朽化した公営住宅は、取り壊すだけでなく、再利用という点で用途変更した事例もあり、町側とも協力しながら今後検討していきたいと思います。 ◆過疎計画があり、病院の充実、子育て支援策の充実に充てています。 ◆今年の4月から町内の高校生まで医療費の無償化について検討しています。 ◆町も議会も人口減対策をしっかりと取り組まなければならないという危機感を持っています。 ◆中学生までの給食費の無償化や結婚生活支援事業を行っているほか、子育て世帯の誘致に努めています。

主な質問・意見等	議会側の回答
●女満別の市街地区は、自治会の会館や集合場所が全くない。研修会館を使いなさいと言われる。 ●自治会の集合場所がないために、自治会活動が緩慢になっているのではないと思う。自治会に入会していない人が年々増えている。 ●議員定数は10名にした方が良いのではないか。 ●芝桜公園の土壌環境はもう限界ではないか。回復して、綺麗な花を咲かせるには年々、今まで以上のお金がかかると思う。 ●女満別湖畔について、キャンプをして楽しめる条件をもっと整えるべき。芝桜公園にかけている経費と同じぐらいの経費をかけるべき。 ●議会の議題に漁業関係のことはあまり出てこない。漁業のことも力を入れて欲しい。 ●住吉の町営牧場は、牧野としては使っていないということでは認識しているけれど、町民の方に、牧野は非常にすばらしい景観をしているということと言われる。維持の問題もあるけれども、町のビューポイントの中で活用して欲しい。 ●研修会館のアンケートをいただいた。アンケートの内容を全部網羅した施設を造るとしたら、莫大な金額になる。研修会館の規模や内容について、十分な検討をして効率的なものを造ってほしい。	◆研修会館が中央公民館みたいな役割を果たしていますが、私どもも普段から集まる場所がないと感じています。市街地区の中では、昭和公民館くらいです。女満別市街地区の集会施設整備について、町側に申し入れます。 ◆今の12名で多いとも、少ないとも思っていませんが、今後の検討課題としたいと思います。 ◆土地としては痩せて厳しい状況という認識をしていますが、昨年からドローンによる薬剤散布を行っています。 ◆一昨年からコガネムシが多く発生し、かなり芝桜苗が傷んだこともあり、芝桜が第1の売りなので、そこを何とかしようということで、町も大きな予算をつけて、駆除や土壌改良をやっています。 ◆女満別地区の大きな売りの一つだと思っています。議会としてもこれから町に対して、いろんな計画を提案させていただきたいと思っています。 ◆漁業に関しては、シジミ、ワカサギ、白魚、特にシジミについては大きな打撃を受けました。町も今、その部分を含めて毎年調査費を付けさせていただいています。 ◆議会としても、今後一層の支援ができるよう働きかけたいと思います。 ◆牧野について、観光という部分も一つの選択肢としてあるのではということかと思うので、積極的に議会としても取り組んでいきたいと思っています。 ◆今、出されているものは、役場の中のプロジェクトチームと、町民の中から出ていただいた検討チームの中で進めています。 ◆議会側も議員全員で今の状況を確認し、雨漏り、一部使えない施設、部屋があるため、早い時期に検討を進めるべきという答えを出しています。 ◆町民の皆さんにも途中の段階で情報が開示されると思うので、議会としても積極的に開示するよう申し入れたいと思います。

(当日アンケート調査票自由記載欄より)
●研修会館について、新施設ができるまでは使おうと思いますが、先日トイレを使用した際、洋式が使えず和式を使用しましたが、手すりがなく、立つのが大変でした。簡単な手すりがあると老人に優しいと思います。

Voice 声 町民の



今やるべきこと

おお せ こう けい
合 瀬 公 景 さん
妙行寺 住職

私はお寺の五代目住職として招かれこの町へ来て十年目の年を過ごしております。最初にお寺を預かる身として掲げていた目標はお寺とは檀家の場所であるという意識を強く持ってもらうことでした。

ですから規模は違えど、町政について住民が自分自身の事として理解と協力をするという観点では同じ働きかけをしてきたという思いです。

町民として改善を求める部分は、東藻琴と女満別の水質の格差を指摘されながらも大空町誕生以降何も変わっていない。花と音楽の町と掲げており花を身近に感じられるが音楽を身近に感じる事はほぼ無

いなどなどです。

ここ大空町はこども園の設立や小中学校におけるインターネット授業の確立、小中一貫教育の導入など次世代への投資がきちんと行われていると評価をしていますが、町内外にその魅力が十分に伝わりきっていないとも感じます。情報の発信を様々な角度から強化する事が将来的に町の力になると思っています。功績も課題も含め広く周知して頂き、今までの住民とこれからの住民、この大空町民と共に発展していくことを願います。

なつかしの校舎



明生小、中学校

明生小学校は、大正7年網走町濤沸村藻琴尋常小学校所属上丸万特別教授所として開校しました。開校当時の児童数は、23名。教員は、福島団体長の佐藤 久進氏が担当しました。

昭和13年に明生尋常小学校。昭和22年には東藻琴中学校明生分校も併置されました。

中学校は、昭和47年に東藻琴中学校に統合。小学校は、昭和53年に東藻琴小学校に統合されました。

小学校の卒業児童数は、543名。中学校の卒業生徒数は、224名でした。

明生校歌の作詞、作曲は、中村 幸男先生です。三番の歌詞には、「ハッカの若葉風薫る ああ明生のわが母校 永久の栄を受けつぎて みんな励まん平和の里を」と詠われています。

藻琴山を仰ぎつつ、入植された方々の子弟が集った学び舎の様子が目に浮かびます。

(参考文献 東藻琴村誌)



暮らしを支える家創り

株式会社 ハタケン

窓リノベ

今なら補助金でお得に!! 最大50%相当の還元



- ・結露を防ぐ
- ・日射を防ぐ
- ・防音性を高める
- ・断熱性を高める
- ・防犯性を高める

この機会にぜひご連絡お待ちしております。

お問い合わせ

✉ info@ozora-hataken.jp

☎ 0152-74-3678

大空町女満別公園6丁目2番13号



※民間企業からの有料広告を掲載しています。

編集後記

議会広報モニター会議を実施し新たに選ばれたモニターの皆様の率直なご意見をお聞かせ頂きました。会議でなく座談会形式で堅苦しい雰囲気を変えて実施してみました。「似顔絵が似ていない」「他の広報を見てみたい」「質問の結果は？」など、いろいろな意味でご意見を聞くことができたことは今後の紙面作りに活かす大切な一歩でした。変える事は簡単ではないですが、少しずつでも取り組むことが大切ですので、今後も閲覧頂き、関心持てる広報づくりに委員会みんなで臨みます。

(福田)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 原本哲己(発行責任者)
委員長 鈴木秀之
副委員長 上地史隆
委員 森賀祐司
委員 福田淳一
委員 大泉知功

今後ともよろしく願っています。

令和6年2月29日発行のおおぞら議会だより71号
議会運営委員会行政視察報告の記事につきまして
誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

14ページ

北海道町村議会議長会 講師(正) 勢旗 了三

(読) 瀬旗 了三

UD FONT

議会だより「おおぞら」
第72号

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

発行／大空町議会
編集／議会広報常任委員会
印刷／株式会社須田製版

住所／〒099-2392

ホームページ

北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号
TEL(0152)74-2111 FAX(0152)74-2191
http://www.town.ozora.hokkaido.jp

